

令和 6 年度 NEW HORIZON Elementary
単元指導計画例（第 5 学年）

▶ 単元概要

単元名	Unit 1 Hello, friends!	教科書ページ	pp.8-17
		配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、名前やつづり、好きなもの・ことについて、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの欧文の形と名前が分かる。	学習時期	4～5 月
		関連の他教科	国語
主な表現	【名前やつづり】 I'm Akina. / How do you spell your name? / A-K-I-N-A. Akina. 【好きなもの・こと】 What subject do you like? / I like P.E. / What sport [food/animal] do you like? 【その他】 I don't like P.E. / Do you like math? / I see. / Hello. / Nice to meet you. / See you.		
主な語彙	教科 / スポーツ / 食べ物 / 動物 など	場面	教室 / 出会い / 自己紹介
働き・機能	挨拶をする、質問する、答える		
工夫（ストラテジー）	丁寧に名前のつづりを伝える		

▶ 評価規準例 Unit 1 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.85 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動			記録に残す評価
Starting Out（第1時） ※名前や好きなもの・ことについてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。					
1	8 ～ 9	導入 (8分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Let's Sing (歌)	"Say hello!"を視聴し、単元テーマを確認する。	
			Small Talk	"How are you?"	
			目標の確認	Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	
		展開 (8分)	Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			SL (p.16)	A～D を書く。	
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
Starting Out（第2時） ※名前や好きなもの・ことについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	8 ～ 9	導入 (8分)	挨拶・歌など	指導者は、授業前の雰囲気づくりとして歌を流す。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			SL (p.16)	E～H を書く。	
			目標の確認		
		展開 (8分)	Let's Chant	・①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認後にチャンツを言う。	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
Your Turn（第3時） ※名前のつづりについて、友達と伝え合う。					
3	10 ～ 11	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.16) で I～L を書く。 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1：聞くこと / ●知・技 知 How do you spell your name?とその答え方、およびその関連語句について理解している。 技 名前やそのつづりについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。
		展開 (8分)	Let's Watch 1	名前のつづりのたずね方と答え方を確認する。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、名前のつづりを聞き取る。	
			Let's Chant	p.8 の① "How do you spell your name?" に取り組む。	
			Let's Try 1	ペアで名前のつづりをたずね合う。	
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	

Your Turn（第4時）						※好きな教科などについて、友達と伝え合う。			
4	10 ～ 11	導入（15分）		(歌)/ 挨拶 / SL (pp.16-17) で M～P を書く。/ Small Talk “How do you spell your name?” / 目標の確認		Let's Listen 2・Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技			
		展開 (25分)	Let's Watch 2	好きな教科のたずね方と答え方を確認する。		[知] What subject do you like?とその答え方、およびその関連語句について理解している。			
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、好きな教科やスポーツを聞き取る。					
			Let's Chant	②“What subject do you like?”					
		Let's Try 2	ペアで好きな教科やスポーツなどをたずね合う。		[技] 好きなもの・ことについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。				
まとめ（5分）		p.11の「ふり返り」を確認する。							
Enjoy Communication（第5時）								※名前や好きなもの・ことについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、自己紹介の内容を考える。	
5	12 ～ 13	導入（15分）		(歌)/ 挨拶 / SL (p.17) で Q～T を書く。/ Small Talk “What subject do you like?” / 目標の確認		Step 2 : 話(やり取り) / ●知・技			
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		[知] 【How do you spell your name?, What subject do you like?とその答え方、およびその関連語句】について理解している。			
			Step 2	・MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理したうえで、「名刺カード」を作る。 ・ペアで名前のつづりや好きなもの・ことをたずね合う。					
		まとめ（5分）		p.13の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		[技] 名前やそのつづり、好きなもの・ことについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、名前やそのつづり、好きなもの・ことについてのやり取りから具体的な情報を聞き取っている。			
Enjoy Communication（第6時）								※お互いのことをよく知るために、名前やつづり、好きなもの・ことなどを伝え合って、自己紹介をし合う。	
6	12 ～ 13	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.17) で U～W を書く。/ 目標の確認		Your Goal : 話(やり取り)/◆思・判・表			
		展開 (30分)	Let's Chant	・①②で重要表現の口慣らしをする。		《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前やそのつづり、好きなもの・ことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。			
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、自己紹介のやり取りをする。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。					
		まとめ（5分）		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.13の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		Your Goal : 話(やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。			
Over the Horizon（第7時）								※映像や音声を手がかりにして、人や国などの名前や略称について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。	
7	14 ～ 15	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.17) で X～Z を書く。/ Small Talk “What are your initials?” / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。			
		展開 (25分)	文化探検	映像を見て人名のイニシャルなどを聞き取って、4線に書く。		【※1】を参照			
			フカボリ! : 身の回りでアルファベットと形が似ているものをさがし、見つけた文字を書く。						
		まとめ（5分）		本時の学習を振り返る。					
Over the Horizon（第8時）								※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人やアイヌ文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。	
8	14 ～ 15	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.17) で BINGO に取り組む。/ 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。			
		展開 (30分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		【※1】を参照			
			ことば探検	ローマ字のヘボン式と訓令式で書かれた日本の地名の発音を聞き、違いについて考える。					
		まとめ（5分）		p.15の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。					
📌単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ!や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。									

📌 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や日本探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 2 Happy birthday!		教科書ページ	pp.18-27
			配当時間	8 時間
単元目標	友達に喜んでもらうために、誕生日や欲しいものについて、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの小文字の形と名前が分かる。		学習時期	5～6 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【誕生日】 When is your birthday? / My birthday is May 5th. 【欲しいもの】 What do you want (for your birthday)? / I want new shoes. 【その他】 What is it? / You like bikes. / It's my [your] turn. / Here you are. / Thank you.			
主な語彙	月 / 日付 / 身の回りのもの / 状態 など	場面	教室 / 文具店 / 誕生日パーティー	
働き・機能	質問する、答える、招待する、礼を言う			
工夫（ストラテジー）	ものを渡す、日付などの重要な情報を強調して言う			

▶ 評価規準例 Unit 2 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.103 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時		頁		主な活動		◎記録に残す評価		
Starting Out（第1時） ※誕生日や欲しいものについてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。								
1	18 ～ 19	導入 (20分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。			
			SL (p.26)				高さに注意しながら小文字の a～d を書く。	
			Let's Sing (歌)				“A Birthday Wish” を視聴し、単元テーマを確認する。	
			Small Talk				“What do you want?”	
		目標の確認		Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。				
		展開 (20分)	Listen and Think		・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。		【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
Let's Chant			・ ①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。					
まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。					
Starting Out（第2時） ※誕生日や欲しいものについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。								
2	18 ～ 19	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.26) で e～h を書く。 / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。		
		展開 (30分)	Let's Chant		① “When is your birthday?” ・ ② “What do you want?”			
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。		【※1】を参照	
			Watch and Think		・ 映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。			
		まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。			
Your Turn（第3時） ※誕生日について、友達と伝え合う。								
3	20 ～ 21	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.26) で i～l を書く。 / 目標の確認		Let's Listen 1・Let's Try 1：聞くこと / ●知・技 知 When is your birthday?とその答え方、およびその関連語句について理解している。 技 誕生日をたずねるやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。		
		展開 (30分)	Let's Watch 1		誕生日のたずね方と答え方を確認する。			
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、登場人物の誕生日を聞き取る。			
			Let's Chant		① “When is your birthday?”			
			Let's Try 1		友達と誕生日をたずね合って、誕生日チェーンを作る。			
		まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。			

Your Turn（第4時） ※誕生日に欲しいものについて、友達と伝え合う。						
4	20 ～ 21	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (pp.26-27) で m～p を書く。 / Small Talk "When is your birthday?" / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2：聞くこと / ●知・技 【知】 What do you want for ...? とその答え方、およびその関連語句について理解している。 【技】 誕生日に欲しいものについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (25分)	Let's Watch 2	誕生日に欲しいもののたずね方と答え方を確認する。		
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、誕生日に欲しいものを聞き取る。		
			Let's Chant	② "What do you want?"		
			Let's Try 2	ペアで誕生日に欲しいものをたずね合う。		
まとめ（5分）		p.21の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication（第5時） ※誕生日や欲しいものについての表現を振り返ったり、相手の好きなもの・ことについての情報を整理したりして、プレゼントカードの内容や伝える内容を考える。						
5	22 ～ 23	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.27) で q～t を書く。 / Small Talk "What do you want for Christmas?" / 目標の確認	Step 2：話（やり取り） / ●知・技 【知】 【When is your birthday?、What do you want for ...? とその答え方、およびその関連語句】について理解している。 【技】 誕生日や欲しいものについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2：聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについての短い話から具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・ペアで好きなもの・こと、誕生日、欲しいものなどをたずね合う。 （Unit 1 で学んだ What ... do you like?の表現も用いる。） ・MPD で語句を確認するなどしたうえで、「プレゼントカード」を作る。		
		まとめ（5分）		p.23の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication（第6時） ※友達に喜んでもらうために、誕生日や欲しいものを伝え合いながら「プレゼントカード」を贈り合う。						
6	22 ～ 23	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.27) で u～w を書く。 / 目標の確認	Your Goal：話(やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal：話（やり取り） / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (30分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、誕生日などを確認しながら、「プレゼントカード」を贈り合う。 ・全体で中間指導を行い、再度やり取りする。		
		まとめ（5分）		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.23の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon（第7時） ※映像や音声を手がかりにして、世界の祭りやイベントについて考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	24 ～ 25	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.27) で x～z を書く。 / Small Talk "What event do you like?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	文化探検	映像を見て世界の祭りの開催月などを聞き取って、4線に書く。 フカボリ！：外国由来で日本にも定着したイベントについて考える（例：ハロウィン、バレンタインデーなど）。		
			まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon（第8時） ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人や陶芸について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	24 ～ 25	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.27) で BINGO に取り組む。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	映像を見て日本語のさまざまな1人称や2人称の表現（おいどん、拙者、お主、そなた）に触れ、英語との違いについて考える。		
		まとめ（5分）		p.25の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。						

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 3 Can you play dodgeball?	教科書ページ	pp.28-37
		配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、できることについて、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの太文字と小文字を、文字の形や書くときの動きに注意しながら書くことができる。	学習時期	6～7 月
		関連の他教科	国語
主な表現	【できること・できないこと】 Can you play the piano? / Yes, I can. / No, I can't. / I can swim (fast). / I can't swim (fast). / You can swim (fast). / You can sing well, too. 【その他】 That's OK. / How about you? / Hi. / Thank you.		
主な語彙	動作 / 楽器 / 海の生き物 / スポーツ など	場面	教室 / 廊下 / 校庭
働き・機能	質問する、答える、注意する、謝る、褒める、礼を言う		
工夫（ストラテジー）	クイズを出題する、自分や相手ができることを伝える、感謝の気持ちを伝える		

▶ 評価規準例 Unit 3 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.121 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時 頁		主な活動		◎記録に残す評価	
Starting Out（第1時） ※ できることについてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。					
1	28 ～ 29	導入 (20分)	挨拶	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
			SL (p.36)		形の似ている大文字を書く。
			Let's Sing (歌)		“Dodge the ball.”を視聴し、単元テーマを確認する。
			Small Talk		“What sport do you like?”
		展開 (20分)	目標の確認		Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。
			Listen and Think		・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。
まとめ (5分)	Let's Chant	・ ①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。			
		本時の学習を振り返る。			
Starting Out（第2時） ※ できることについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	28 ～ 29	導入 (10分)		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	Let's Chant		① “I can dance well.” ・ ② “Can you swim?”
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
			Watch and Think		・ 映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn（第3時） ※ できることについて、友達と伝え合う。					
3	30 ～ 31	導入 (10分)		Let's Listen 1 ・ Let's Try 1：聞くこと ／ ●知・技 [知] Can you ...? とその答え方、I [You] can、およびその関連語句について理解している。 [技] 相手ができることやできないことについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (30分)	Let's Watch		できるかどうかのたずね方と答え方を確認する。
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、登場人物のできること・できないことを聞き取る。
			Let's Chant		① “I can dance well.” ・ ② “Can you swim?”
			Let's Try 1		ペアで、できることをたずね合う
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		

Your Turn (第4時) ※できることやできないことについて、友達と伝え合う。						
4	30 ～ 31	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.36) で大文字と小文字をペアで書く。 / Small Talk "Can you play badminton?" / 目標の確認	Let's Listen 2 : 聞くこと / ●知・技 【Can you ...? とその答え方、I [You] can ..., およびその関連語句】について理解している。 【技】 相手ができることやできないことについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (25分)	Let's Listen 2	海の生き物についてのクイズを聞いて、できることを聞き取る。		
			Let's Chant	① "I can dance well." ・ ② "Can you swim?"		
			Let's Try 2	巻末絵カードを使って、できることやできないことを伝え合う。		
まとめ (5分)		p.31 の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※できることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、友達に伝える内容を考える。						
5	32 ～ 33	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.37) で円を描くような動きが中心の小文字を書く。 / Small Talk "Can you cook well?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 【同上】について理解している。 【技】 できることやできないことについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、できることやできないことについての短い話から具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・ MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理したうえで、「できることカード」を作る。 ・ ペアですることを伝え合う。		
		まとめ (5分)		p.33 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication (第6時) ※お互いのことをよく知るために、できることを友達と伝え合う。						
6	32 ～ 33	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.37) で上下の動きが中心の小文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal : 話(やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、できることやできないことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (30分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・ モデル映像を視聴後、できることについて伝え合う。 ・ 全体で中間指導を行い、再度やり取りする。		
		まとめ (5分)		・ 「After 活動のふり返り」に記入する。 ・ p.33 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界で使われているジェスチャーなどについて考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	34 ～ 35	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.37) で下へ向かう動きが中心の小文字を書く。 / Small Talk "Can you do this?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (25分)	文化探検	映像を見て、さまざまな国のジェスチャーについて意味を考える。 フカボリ! : 映像を見て日本とアメリカの手話を比較し、違いについて考える。		
			まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人やその仕事について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	34 ～ 35	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.37) でまっすぐな線でできている小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	映像を見て、日本語と英語の語順の違いについて考える。		
		まとめ (5分)		p.35 の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
●単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ! や日本探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。						
【常学習】 Sounds and Letters (pp.36-37)		読むこと・書くこと／●知・技 ※Unit 1～3を通して総合的に評価する。 【知】 <アルファベットの活字体の大文字・小文字>について理解している。 【技】 <同上>を識別する技能を身につけている。／<同上>を書く技能を身につけている。				

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 1 おたがいの魅力、再発見！		教科書ページ	pp.38-39
			配当時間	2 時間
単元目標	自分のことを伝えるために、名前や誕生日、好きなことやできることなどについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	7 月
			関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】 My name is / I'm / My birthday is / I like / I can / I want など			
主な語彙	月 / 日付 / スポーツ / 動作 / 楽器 など	場面	教室での発表	
働き・機能	発表する、質問する			
工夫（ストラテジー）	情報をマッピングで整理する。			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	＜知識＞【名前や好きなもの・こと、誕生日や欲しいもの、できることなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 ＜技能＞友達の自己紹介スピーチを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	相手のことをよく知るために、相手の自己紹介スピーチから具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、相手の自己紹介スピーチから具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと（発表）	＜知識＞【同上】について理解している。◎ ＜技能＞自分の好きなことやできることなどについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎	自分のことを伝えるために、自分の好きなことやできることなどについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	自分のことを伝えるために、自分の好きなことやできることなどについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと（発表）」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足できる）	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	自分のことをよく伝えるために好きなことやできることなどについて、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	自分のことをよく伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B（おおむね満足できる）	①名前やつづり、好きなもの・こと ②誕生日や欲しいもの ③できること について、おおむね正しく話すことができる。	自分のことをよく伝えるために好きなことやできることなどについて、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	自分のことをよく伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C（努力を要する）	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価
1	38 ～ 39	※本時の目標		お互いのことをよく知るために、名前や誕生日、好きなことやできることなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。
			Small Talk	同じ学年の他クラスの担任の先生などになりきって、誕生日や、できること、好きなもの・ことなどについての自己紹介をし、誰なのかを当てさせる。
		展開 (8分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。
			HOP	・ブライアンの発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。
			STEP	・p.39 のマッピングで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 1～3 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.38 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。
2	38 ～ 39	※本時の目標		自分のことをよく伝えるために、名前や誕生日、好きなことやできることなどについて、内容を整理したうえで話すことができる。
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 1～3 の Let's Chant の中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。
		展開 (8分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の映像を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。
			JUMP	・ローテーション形式で、相手をかえて何度か発表する。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。
		まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）1 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.39 の JUMP に記入する。 ・指導者は 1 学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。

▶ 単元概要

単元名	Unit 4 Who is this?		教科書ページ	pp.40-49
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、身近な人のできることや性格などについて、聞き取ったり紹介し合ったりすることができる。また、単語のアクセントを意識しながら読んだり、複数の文字の名前を聞いて大文字を書き取ったりすることができる。		学習時期	9～10 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【身近な人】 Who is this? / This is Deepa. / She [He] is my friend. 【できること】 She can play badminton (well). / She can play the piano, too. 【性格など】 She is kind (and active). 【その他】 Wow, badminton. / Look at this card. / Nice talking to you.			
主な語彙	人 / 性格 / 動作 / 家族 など	場面	ソフィアの家 / 食卓	
働き・機能	質問する、答える、紹介する、説明する			
工夫（ストラテジー）	相手に分かりやすい順番で伝える			

▶ 評価規準例 Unit 4 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.143 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時		頁		主な活動		◎記録に残す評価		
Starting Out（第1時） ※身近な人についてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。								
1	40 ～ 41	導入 (20分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。			
			SL (p.48)					
			Let's Sing (歌)					
			Small Talk					
			目標の確認					
		展開 (20分)	Listen and Think		・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。			
			Let's Chant		・①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。			
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。						
Starting Out（第2時） ※身近な人についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。								
2	40 ～ 41	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.48) で複数の文字の名前を続けて聞き、大文字を書く。 / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (30分)	Let's Chant		① “This is Petra.” ・ ② “She is my friend.”			
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。			
			Watch and Think		・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。			
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。				
Your Turn（第3時） ※身近な人のできることについて、友達と紹介し合う。								
3	42 ～ 43	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.48) で単語のアクセントに気をつけて声に出して読む。 / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (30分)	Let's Watch 1		身近な人の紹介の仕方について確認する。			
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、身近な人のできることなどを聞き取る。			
			Let's Chant		① “This is Petra.” ・ ② “She is my friend.”			
			Let's Try 1, 2		登場人物を 1 人選び、ペアで紹介し合う。同様に、グループになって友達を紹介し合う。			
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。				

Your Turn（第4時） ※身近な人のできることや性格などについて、友達と伝え合う。						
4	42 ～ 43	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.48) で複数の文字の名前を続けて聞き、大文字を書く。 / Small Talk “Can you play the piano?” / 目標の確認	Let's Listen 2 : 聞くこと / ●知・技 【Who is this? とその答え方、She [He] is [can]、およびその関連語句】について理解している。 【技】 身近な人のできることや性格などについてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (25分)	Let's Watch 2	身近な人の紹介の仕方について確認する。		
			Let's Listen 2	Who is this? クイズを聞いて、できることや性格を聞き取る。		
			Let's Chant	① “This is Petra.” ・ ② “She is my friend.”		
			Let's Try 3	第 5・6 時で紹介する人を決めるために、身近な人のできることを考えたり伝えたりする。		
まとめ（5分）		p.43 の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication（第5時） ※身近な人のできることや性格などについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、友達に紹介する内容を考える。						
5	44 ～ 45	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.49) で単語のアクセントに気をつけて声に出して読む。 / Small Talk “Who is this?” / 目標の確認	Step 2 : 話（やり取り） / ●知・技 【同上】について理解している。 【技】 身近な人のできることや性格などについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、身近な人のできることや性格などについてのやり取りから具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・ p.43 の Let's Try 3 で考えた人について、MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理したうえで、「人物紹介カード」を作る。 ・ カードに書いた人について、ペアで紹介し合う。		
		まとめ（5分）		p.45 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication（第6時） ※お互いのことをよく知るために、身近な人のできることや性格などについて友達と紹介し合う。						
6	44 ～ 45	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.49) で複数の文字の名前を続けて聞き、大文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal : 話(やり取り)/◆思・判・表 《相手に自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、身近な人のできことや性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話（やり取り） / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (20分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・ モデル映像を視聴後、身近な人について紹介し合う。 ・ 全体で中間指導を行い、再度やり取りする。		
		まとめ（5分）		・ 「After 活動のふり返り」に記入する。 ・ p.45 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon（第7時） ※映像や音声を手がかりにして、英語で人を指す言葉などについて考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	46 ～ 47	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.49) で単語のアクセントに気をつけて声に出して読む。 / Small Talk “How do you say <i>eakon</i> in English?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (25分)	文化探検	映像を見て、身近な人や動物を紹介するときの主語の違いについて考える。 フカボリ！：映像を見て、英語には「ウシ」を表す表現がさまざまなことに気づき、日本語にも同様の例があるか考える。		
			まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon（第8時） ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人や下駄について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	46 ～ 47	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.49) で複数の文字の名前を続けて聞き、大文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (20分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	映像を見て、カタカナ語（和製英語など）について考える。		
		まとめ（5分）		p.47 の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
●単元末テストを実施する場合、第 7・8 時の一部の活動（フカボリ！や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。						

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 5 Let's go to the zoo.		教科書ページ	pp.50-61
			配当時間	8 時間
単元目標	好きな施設などを知ってもらうために、施設や場所、道案内について聞き取ったり、場所をたずねたり案内したりすることができる。また、単語のはじめの音を聞き取ったり、複数の文字の名前を聞いて小文字を書き取ったりすることができる。		学習時期	10～11 月
			関連の他教科	社会
主な表現	【道案内・位置】 Where is the park? / Go straight for one [two] block [blocks]. / Turn right [left]. / You can see it on your right [left]. / It's under the tree [in the pool / on the rock / by the rock]. 【町にある施設】 What do you have in your town? / We have a nice restaurant. 【その他】 We can walk dogs there. / Your park is in space C. / Really? / Pardon?			
主な語彙	道案内 / 位置 / 町 / 感想・様子 など	場面	道案内 / 町紹介	
働き・機能	質問する、答える、指示する、紹介する			
工夫（ストラテジー）	相手の理解を確認しながら話す			

▶ 評価規準例 Unit 5 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.161 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時		頁		主な活動			◎記録に残す評価		
Starting Out（第1時） ※施設や場所、道案内についてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。									
1	50 ～ 51	導入 (20分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。				
			SL (p.60)						
			Let's Sing (歌)						
			Small Talk						
		展開 (20分)	目標の確認		Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。				
			Listen and Think		・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。				
Let's Chant		・①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。							
まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。						
Starting Out（第2時） ※施設や場所、道案内についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。									
2	50 ～ 51	導入 (10分)		(歌)/ 挨拶 /SL (p.60) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。/ 目標の確認			本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (20分)	Let's Chant		① "Excuse me!" ・ ② "What do you have in your town?"				
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。				
			Watch and Think		・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。				
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。					
Your Turn（第3時） ※場所をたずねたり、道案内したりする。									
3	52 ～ 53	導入 (10分)		(歌)/ 挨拶 /SL (p.60) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。/ 目標の確認			Let's Listen 1・2：聞くこと/●知・技 知 目的の場所への道を案内する表現、およびその関連語句について理解している。 技 動物園で動物がいる位置についてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。		
		展開 (30分)	Let's Watch 1		目的地への行き方のたずね方と答え方を確認する。				
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、動物園で目的の動物がいる位置を聞き取る。				
			Let's Chant		① "Excuse me!"				
			Let's Try 1		動物園の地図を用いて、動物がいる場所をペアでたずね合う。				
		Let's Listen 2		やり取りを聞き、話者が見ている動物の位置を聞き取る。					
まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。						

Your Turn（第4時） ※おすすめの施設について、友達と伝え合う。						
4	52 ～ 53	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.60) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / Small Talk "Where is the lion?" / 目標の確認	Let's Listen 3 : 聞くこと / ●知・技 【知】 町にあるものをたずねる表現、およびその関連語句について理解している。 【技】 町の施設などがある場所についてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (25分)	Let's Watch 2	町にある施設などのたずね方と答え方について確認する。		
			Let's Listen 3	やり取りを聞いて、町にある施設などを聞き取る。		
			Let's Chant	② "What do you have in your town?"		
			Let's Try 2	ペアで自分の町のおすすめの施設などをたずね合う。		
まとめ（5分）		p.53の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication（第5時） ※施設や場所、道案内についての表現を振り返り、紹介する施設を決め、その施設の紹介や道案内の内容を考える。						
5	54 ～ 55	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.61) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "Where is the gym?" / 目標の確認	Step 2 : 話（やり取り） / ●知・技 【知】 【町にあるものをたずねたり、町の施設への道を案内したりする表現、およびその関連語句】について理解している。 【技】 町の施設などがある場所について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 町についてよく知るために、町の施設などがある場所についてのやり取りから具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・自分の町の好きな施設などの絵を描いて pp.56-57 のオリジナルタウンを完成する。 ・MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理する。 ・オリジナルタウンを用いてペアで道案内のやり取りをする。		
		まとめ（5分）		p.55の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication（第6時） ※好きな施設などを知ってもらうために、オリジナルタウンで道案内をし合う。						
6	54 ～ 55	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.61) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal : 話（やり取り） / ◆思・判・表 《相手に自分の町についてよく知ってもらうために、町の施設などがある場所について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話（やり取り） / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (8分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、オリジナルタウンで道案内し合う。 ・全体で中間指導を行い、再度やり取りする。		
		まとめ（5分）		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.55の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon（第7時） ※映像や音声を手がかりにして、世界の標識や地図記号について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	58 ～ 59	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.61) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "What do you have on Mondays?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (8分)	文化探検	海外の標識についての映像を見て、標識がある場所を考える。 フカボリ! : アメリカで使われている地図記号を見て、その意味や似ている日本の地図記号について考える。		
			まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon（第8時） ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人や大好きな焼きについて考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	58 ～ 59	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.61) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (8分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	映像を見て、自然な速さで英語を発音したときの「消える音」や「つながる音」などについて考える。		
		まとめ（5分）		p.59の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
●単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ!や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。						

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 6 At a restaurant.	教科書ページ	pp.62-71
		配当時間	8 時間
単元目標	日本各地の料理を楽しむために、食事の注文や値段を聞き取ったり、丁寧に注文したり値段をたずねたりすることができる。また、単語のはじめの音を聞き取ったり、複数の文字の名前を聞いて小文字を書き取ったりすることができる。	学習時期	11～12 月
		関連の他教科	家庭・算数
主な表現	【注文】 What would you like? / I'd like a hamburger and juice. 【値段】 How much is it? / It's 940 yen. 【その他】 This is Shizuoka Restaurant. / Your change is 20 yen. / Let me see. / Thank you for coming. / Fujinomiya fried noodles are good. / Please come again.		
主な語彙	食べ物 / 飲み物 / デザート / 味 / 数（値段）など	場面	レストラン
働き・機能	質問する、答える、指示する、紹介する		
工夫（ストラテジー）	注文内容や値段などを繰り返して確認する		

▶ 評価規準例 Unit 6 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.179 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時		頁		主な活動		◎記録に残す評価		
Starting Out（第1時） ※ 食事の注文や値段についてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。								
1	62 ～ 63	導入 (20分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行いが、 記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。			
			SL (p.70)					
			Let's Sing (歌)					
			Small Talk					
			目標の確認					
		展開 (20分)	Listen and Think		・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。			
			Let's Chant		・ ①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。			
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。						
Starting Out（第2時） ※ 食事の注文や値段についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。								
2	62 ～ 63	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.70) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行いが、 記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (30分)	Let's Chant		① "What would you like?" ・ ② "How much is this?"			
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。			
			Watch and Think		・ 映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。			
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。				
Your Turn（第3時） ※ 友達と、食事の注文のやり取りをする。								
3	64 ～ 65	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.70) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。 / 目標の確認		Let's Listen 1 ・ Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技 知 What would you like?, I'd like, およびその関連語句について理解している。 技 食事を注文するやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。		
		展開 (30分)	Let's Watch 1		食事の注文の仕方を確認する。			
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、注文したものを聞き取る。			
			Let's Chant		① "What would you like?"			
			Let's Try 1		MPD の pp.12-13 を用いて、ペアで注文のやり取りをする。			
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※友達と、値段を含めた食事の注文のやり取りをする。						
4	64 ～ 65	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.70) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / Small Talk "What dessert do you like?" / 目標の確認	Let's Listen 2 : 聞くこと / ●知・技 知 How much is it?, It's ... yen.、およびその関連語句について理解している。 技 買い物の場面で値段をたずねるやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。 Let's Try 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 日本各地の料理を楽しむために、それぞれのおすすめのメニューについて、食事を注文したり値段をたずねたりするやり取りから具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (25分)	Let's Watch 2	値段のたずね方と答え方について確認する。		
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、買ったものと合計金額などを聞き取る。		
			Let's Chant	② "How much is this?"		
			Let's Try 2	MPD の pp.12-13 を用いて、ペアで注文のやり取りをする。		
まとめ (5分)		p.65 の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※食事や値段について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、おすすめランチセットの紹介の内容を考える。						
5	66 ～ 67	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.71) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "How much is it?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 知 【What would you like?, I'd like ..., How much is it?, It's ... yen.、およびその関連語句】について理解している。 技 食事のメニューやその値段について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・グループになり、各自が都道府県を選んで「おすすめランチセット」を作る。 ・MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理したうえで、「おすすめランチセット」を作る。 ・ペアで注文や値段のやり取りをする。		
		まとめ (5分)		p.67 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication (第6時) ※日本各地の料理を楽しむために、「おすすめランチセット」を紹介したり注文したりする。						
6	66 ～ 67	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.71) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《日本各地の料理を楽しむために、それぞれのおすすめのメニューについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (30分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、「おすすめランチセット」を使って、グループでレストランのやり取りをする。 ・全体で中間指導を行い、再度やり取りする。		
		まとめ (5分)		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.67 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の料理や食文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	68 ～ 69	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.71) で複数の単語を聞き、はじめの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "What food do you like?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	文化探検	映像を見て、世界の料理や食文化などについて考える。 フカボリ! : 映像を見て、世界の食事の食べ方の違いについて考える。		
			まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人やお茶について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	68 ～ 69	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.71) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	外国由来の食べ物の原語の発音を聞き、違いについて考える。		
		まとめ (5分)		p.69 の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や日本探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。						
【帯学習】		書くこと／●知・技 ※Unit 4～6を通して総合的に評価する。				
Sounds and Letters (pp.70-71)		知 <アルファベットの活字体の小文字>について理解している。				
		技 <同上>の名前が発音されるのを聞いて書き取る技能を身につけている。				

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 2 聞いて！わたしの町じまん		教科書ページ	pp.72-73
			配当時間	2 時間
単元目標	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	12 月
			関連の他教科	－
主な表現	【既習事項の復習】 I'm / I like / I live in / This is / She [He] is / She [He] can / What do you have [like] in your town? など			
主な語彙	町 / 位置 / 感想・様子 / 性格 など	場面	教室でのポスター発表	
働き・機能	発表する、説明する			
工夫（ストラテジー）	資料の見せ方を工夫する、もっと聞きたいことを質問する。			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>【地域にあるものや食べ物、身近な人などを紹介する表現や関連語句など】について理解している。 <技能>友達が暮らす地域のよさについての短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	友達が暮らす地域のよさを知るために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて具体的な情報を聞き取っている。	友達が暮らす地域のよさを知るために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと(発表)	<知識>【同上】について理解している。◎ <技能>自分が暮らす地域のよさについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足できる）	B に加えて今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を十分に整理したうえで自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、資料を工夫したり、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B（おおむね満足できる）	①身近な人 ②おすすめの場所 ③食べ物 について、おおむね正しく話すことができる。	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで自分の考えや気持ちを話すことができる。	自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、資料を工夫したり、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C（努力を要する）	B に満たない。	B に満たない。	B に満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価
1	72 ～ 73	※本時の目標		自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。
			Small Talk	地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、指導者と児童でやり取りする。また、児童が興味をもったものについてたずね、答えさせる。
		展開 (8分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。
			HOP	・明菜の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。
			STEP	・p.73 のチャートで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 4～6 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.72 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。
2	72 ～ 73	まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。
		※本時の目標		自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで話することができる。
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 4～Unit 6 の Let's Chant の中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。
		展開 (8分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の映像を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に書いた「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。
			JUMP	・クラス全体を 2 つに分け、ポスターセッション形式で発表したり聞いたりする。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。
2	72 ～ 73	まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）2 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.73 の JUMP に記入する。 ・指導者は 1～2 学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。
		STEP : 話（発表） / ●知・技		知 【地域にあるものや食べ物、身近な人などを紹介する表現や関連語句など】について理解している。 技 自分が暮らす地域のよさについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
		JUMP : 話（発表） / ◆思・判・表		《自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。
		JUMP : 話（発表） / ★態度		《同上》話そうとしている。
		STEP : 話（発表） / ●知・技		知 【地域にあるものや食べ物、身近な人などを紹介する表現や関連語句など】について理解している。 技 自分が暮らす地域のよさについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
		JUMP : 話（発表） / ◆思・判・表		《自分たちが暮らす地域のよさを知ってもらうために、地域にあるものや食べ物、身近な人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。

▶ 単元概要

単元名	Unit 7 Welcome to Japan!	教科書ページ	pp.74-83
		配当時間	8 時間
単元目標	日本各地の魅力を伝えるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて、聞き取ったりグループで紹介したりすることができる。また、単語の終わりの音を聞き取ったり、複数の文字の名前を聞いて小文字を書き取ったりすることができる。	学習時期	1～2 月
		関連の他教科	社会
主な表現	【行きたい場所】 Where do you want to go? / I want to go to Shiga. 【行きたい理由・したいこと】 Why do you want to go to Shiga? / I want to go to Lake Biwa. / What do you want to do in Lake Biwa? / I want to go fishing. / It's exciting. / I want to eat lunch there. 【その他】 It's very colorful. / Sounds nice! / Welcome to Japan. / Let's go to the Kanto Area. / Thank you for listening.		
主な語彙	動作 / 季節 / 色 / 形 / 感想・様子 など	場面	教室 / 観光案内 CM
働き・機能	発表する、紹介する、質問する、答える		
工夫（ストラテジー）	笑顔や楽しそうな声で伝える		

▶ 評価規準例 Unit 7 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.201 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（発表）＝話すこと（発表） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時		頁		主な活動			◎記録に残す評価		
Starting Out（第1時） ※行きたい場所やそこでしたいことについてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。									
1	74 ～ 75	導入 (20分)	挨拶		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。				
			SL (p.82)						
			Let's Sing (歌)						
			Small Talk						
			目標の確認						
		展開 (20分)	Listen and Think		・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。				
Let's Chant			・ ①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。						
まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。						
Starting Out（第2時） ※行きたい場所やそこでしたいことについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。									
2	74 ～ 75	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.82) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認			本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 を参照		
		展開 (30分)	Let's Chant		① “Where do you want to go?” ・ ② “I want to go to the onsen.”				
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。				
			Watch and Think		・ 映像を見て、1の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。				
		まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。				
		Your Turn（第3時） ※行きたい日本の場所とそこに行きたい理由について、友達と紹介し合う。							
3	76 ～ 77	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.82) で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / 目標の確認			Let's Listen 1 ・ Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技		
		展開 (30分)	Let's Watch		行きたい場所についてのたずね方と答え方を確認する。			知 Where do you want to go?, I want to go to ..., Why [What] do you want to ...?, およびその関連語句について理解している。 技 行きたい日本の場所やその魅力についてのやり取りを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、行きたい場所を聞き取る。				
			Let's Chant		① “Where do you want to go?” ・ ② “I want to go to the onsen.”				
			Let's Try 1		日本で行きたい場所とその理由についてペアでたずね合う。				
		まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。				

Your Turn（第4時） ※行きたい日本の場所とそこでしたいことなどについて、友達と紹介し合う。							
4	76 ～ 77	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.82) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / Small Talk “Can you find circles in our classroom?” / 目標の確認	Let's Listen 2 : 聞くこと / ●知・技 知 I want to go toおよびその関連語句について理解している。 技 日本の場所とその魅力についての観光CMを聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。 Let's Try 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 日本各地の魅力を知るために、行きたい場所やそこでしたいことなどについてのやり取りから具体的な情報を聞き取っている。		
		展開 (25分)	Let's Listen 2	観光CMを聞いて、観光名所とその魅力について聞き取る。			
			Let's Chant	② “I want to go to the onsen.”			
			Let's Try 2	日本で行きたい場所や、その理由、したいことをたずね合う。			
まとめ（5分）		p.77の「ふり返り」を確認する。					
Enjoy Communication（第5時） ※紹介する地方と行きたい場所やそこでしたいことなどについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、観光案内CMの内容を考える。							
5	78 ～ 79	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.83) で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk “What do you want to do in Okinawa?” / 目標の確認	Step 2 : 話（発表） / ●知・技 知 【Where do you want to go?, I want to go to, Why [What] do you want to ...?, およびその関連語句】について理解している。 技 行きたい日本の場所やその魅力について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。		
		展開 (25分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。			
			Step 2	・日本の地方ごとにグループになり、その地方で行きたい場所の「観光案内カード」を作る。 ・MPDで語句を確認するなどして伝えたい内容を整理し、観光案内CMを考える。			
		まとめ（5分）		p.79の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。			
Enjoy Communication（第6時） ※日本各地の魅力を伝えるために、観光案内CM（行きたい場所やそこでしたいことなど）を発表する。							
6	78 ～ 79	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.83) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal : 話（発表） / ◆思・判・表 《日本各地の魅力を伝えるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal : 話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。		
		展開 (30分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。			
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、「観光案内カード」を使って、グループで観光案内CMを発表する。 ・全体で中間指導を行い、再度発表する。			
		まとめ（5分）		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.79の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。			
Over the Horizon（第7時） ※映像や音声を手がかりに、世界に影響を与えている日本文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。							
7	80 ～ 81	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.83) で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk “What do you like about Japanese culture?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (25分)	文化探検	映像を見て、世界に影響を与えた日本の絵画について考える。 フカボリ! : 映像を見て、現在世界に影響を与えている日本文化について考える。			
			まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。	
		Over the Horizon（第8時） ※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人について知ったり日本文化について考えたりして、日本と世界の文化に対する理解を深める。					
8	80 ～ 81	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.83) で複数の文字の名前を続けて聞き、小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (30分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。			
			ことば探検	映像を見て、英語として使われている日本語について考える。			
		まとめ（5分）		p.81の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。			
●単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ! や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。							

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 8 Who is your hero?	教科書ページ	pp.84-93
		配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、憧れの人の職業や得意なことなどについて、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、単語の終わりの音を聞き取ったり、複数の文字の名前を聞いて大文字と小文字を書き取ったりすることができる。	学習時期	2～3 月
		関連の他教科	道徳
主な表現	【憧れの人】 Who is your hero? / My hero is Yamanaka Shinya. 【職業】 He [She] is a (famous) scientist. 【得意なこと・性格】 He [She] is good at running marathons. / He [She] is amazing. 【その他】 I have a question. / Can he speak English well? / Good job! / Hello, everyone. / Look at this picture. / Thank you for listening.		
主な語彙	職業 / 性格 / 遊び / 動作 / 感想・様子 など	場面	ソフィアの家 / 教室
働き・機能	発表する、紹介する、質問する、答える		
工夫（ストラテジー）	質問をして理解を深める		

▶ 評価規準例 Unit 8 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.219 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動			◎記録に残す評価	
Starting Out（第1時） ※憧れの人についてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。						
1	84 ～ 85	導入 (20分)	挨拶	複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
			SL (p.92)			
			Let's Sing (歌)			“Me Hero”を視聴し、単元テーマを確認する。
			Small Talk			“Are you active?”
		展開 (20分)	目標の確認	Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。		
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。		
Let's Chant	・①②を聞き、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。					
	まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Starting Out（第2時） ※憧れの人についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。						
2	84 ～ 85	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.92)で人名を1文字ずつ続けて聞き、大文字や小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	Let's Chant	① “My hero is my father.” ・ ② “Why is he your hero?”		
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。		
			Watch and Think	・映像を見て、1の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。		
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。			
Your Turn（第3時） ※憧れの人やその人の職業について、友達と紹介し合う。						
3	86 ～ 87	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.92)で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技 知 Who is your hero?, My hero is, He [She] is およびその関連語句について理解している。 技 憧れの人やその職業や得意なことなどについてのやり取りや短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (30分)	Let's Watch	憧れの人についてのたずね方と答え方を確認する。		
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、登場人物の憧れの人について聞き取る。		
			Let's Chant	① “My hero is my father.” ・ ② “Why is he your hero?”		
			Let's Try 1	ペアで憧れの人やその職業などをたずね合う。		
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。			

Your Turn（第4時）※憧れの人やその人の得意なことなどについて、友達と紹介し合う。						
4	86 ～ 87	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.92)で国名や地名を1文字ずつ続けて聞き、大文字や小文字を書く。 / Small Talk "Who is your hero?" / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2：聞くこと / ●知・技 【知】【Who is your hero?, My hero is, He [She] is, He [She] is good at, およびその関連語句】について理解している。 【技】憧れの人やその人の職業や得意なことなどについてのやり取りや短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	
		展開 (8分)	Let's Listen 2	やり取りを聞いて、憧れの人とその人物の得意なことを聞き取る。		
			Let's Chant	① "My hero is my father."・② "Why is he your hero?"		
			Let's Try 2	Let's Try 1 で述べた憧れの人や得意なことをたずね合う。		
まとめ（5分）		p.87の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication（第5時）※憧れの人やその人の職業や得意なことなどについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、友達に紹介する内容を考える。						
5	88 ～ 89	導入（15分）		(歌) / 挨拶 / SL (p.93)で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "Are you good at playing baseball?" / 目標の確認	Step 2：話（発表） / ●知・技 【知】【同上】について理解している。 【技】憧れの人やその人の職業や得意なことなどについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2：聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、憧れの人やその人の職業や得意なことなどについてのやり取りや短い話から具体的な情報を聞き取っている。	
		展開 (8分)	Step 1	モデル文を確認し、「会話練習映像」などで練習をする。		
			Step 2	・MPD で語句を確認するなどして伝えたい内容を整理したうえで、「あこがれの人カード」を作る。 ・ペアになり、カードに書いた人について紹介する。		
		まとめ（5分）		p.89の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication（第6時）※お互いのことをよく知るために、憧れの人やその人の職業や得意なことなどについて友達に紹介する。						
6	88 ～ 89	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.93)で国名や地名を1文字ずつ続けて聞き、大文字や小文字を書く。 / 目標の確認	Your Goal：話（発表） / ◆思・判・表 《自分のことを伝えるために、憧れの人やその人の職業や得意なことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。	
		展開 (8分)	Let's Chant	①②で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、「あこがれの人カード」を使って、人物を紹介する。 ・全体で中間指導を行い、再度発表する。		
		まとめ（5分）		・「After 活動のふり返り」に記入する。 ・p.89の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43)を確認する。		
Over the Horizon（第7時）※映像や音声を手がかりにして、日本のヒーローについて考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。						
7	90 ～ 91	導入（15分）		挨拶 / 歌 / SL (p.93)で複数の単語を聞き、終わりの音が異なるものを選ぶ。 / Small Talk "What character do you like?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (8分)	文化探検	映像を見て、世界で活躍した日本人の功績について考える。 フカボリ！：映像を見て、海外の有名な人について考える。		
			まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon（第8時）※映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人や漆・輪島塗の作品について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。				
8	90 ～ 91	導入（10分）		挨拶 / 歌 / SL (p.93)で月名を1文字ずつ続けて聞き、大文字や小文字を書く。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (8分)	日本探検	日本で働く外国人のインタビュー映像を見て、内容を確認する。		
			ことば探検	映像を見て、職業を表す単語の音の終わり方を比べる。		
		まとめ（5分）		p.91の「ふり返り」を確認し、本単元全体も振り返る。		
単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や日本探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。						
【帯学習】		書くこと / ●知・技 ※Unit 7～8を通して総合的に評価する。				
Sounds and Letters (pp.92-93)		【知】＜アルファベットの活字体の大文字・小文字＞について理解している。 【技】＜同上＞の名前が発音されるのを聞いて書き取る技能を身につけている。				

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 3 おすすめしたい！ 日本の素敵		教科書ページ	pp.94-95
			配当時間	2 時間
単元目標	日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	3 月
			関連の他教科	－
主な表現	【既習事項の復習】 I'm / Where do you want to go? / I want to go to / This is / You can / She [He] is / She [He] can / She [He] is my hero. / I have a question. など			
主な語彙	動作 / 感想・様子 / 職業 など	場面	教室での発表	
働き・機能	発表する、紹介する、質問する			
工夫（ストラテジー）	質問するときに I have a question. などと言う。			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>【行きたい場所やしたいこと、その場所に関連した人などを伝える表現や関連語句など】について理解している。 <技能>日本の魅力や各地にゆかりのある（有名）人についての短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	日本の魅力を知るために、紹介された都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、具体的な情報を聞き取っている。	日本の魅力を知るために、紹介された都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと（発表）	<知識>【同上】について理解している。◎ <技能>日本の魅力や各地にゆかりのある（有名）人について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎	日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。◎	日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと（発表）」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足できる）	B に加えて今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を十分に整理したうえで自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	日本の魅力を伝えるために、資料を工夫したり、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B（おおむね満足できる）	①行きたい場所やしたいこと ②各地にゆかりのある（有名）人について、おおむね正しく話すことができる。	日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで自分の考えや気持ちを話すことができる。	日本の魅力を伝えるために、資料を工夫したり、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C（努力を要する）	B に満たない。	B に満たない。	B に満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	94 ～ 95	※本時の目標		日本の魅力を知るために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶・歌	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	都道府県や各地にゆかりのある有名な人などについて、指導者と児童でやり取りする。また、児童が興味をもったものについてたずね、答えさせる。	
		展開 (8分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 【知】 【行きたい場所やしたいこと、その場所に関連した人などを伝える表現や関連語句など】について理解している。
			HOP	・樹の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	【技】 日本の魅力や各地にゆかりのある（有名）人について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			STEP	・p.95 のチャートで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 7～8 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.94 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。	
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	94 ～ 95	※本時の目標		日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (10分)	挨拶・歌	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 7～8 の Let's Chant を全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (25分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の映像を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に書いた「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。
			JUMP	・3 人組で、発表したり聞いたり録画したりする。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。	JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
		まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）3 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.95 の JUMP に記入する。 ・指導者は 1 年間のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。	